



海人のまちを堪能! 糸満市観光協会主催 産業ツーリズム

令和5年12月2日(土)から令和6年1月13日(土)にかけて、糸満市観光協会主催の産業ツーリズム「糸満の海と海事業業を探る!」が全6回行われました。ツアーに参加した神奈川県在住の柴田和明さんは「サザンビーチホテルから見える造船所で何が行われているか気になっていました。天気にも恵まれ、クジラも見ることができたので、とても貴重な体験ができました」と話しました。



地域の人を守るために 備蓄食料などに関する災害協定締結式

市内の自主防災組織と備蓄食料等の保管および災害時における適切な活用に関する協定取交し式が1月15日(月)、糸満市役所で行われました。この協定は、災害により甚大な被害が発生した場合に、警察や消防などの支援体制構築までに時間がかかることから、あらかじめ地域の自主防災組織に備蓄食料などを配置しておくことで迅速な支援につなげることを目的に取り交わしています。



日本代表選手と手話でコミュニケーション デフバレーボール選手権 2024 事前イベント

令和6年6月に行われる「デフバレーボール選手権 2024」を前に、デフバレーボール体験・交流イベントが1月20日(土)、西崎総合体育館で行われました。交流会では、男女の日本代表選手と地域のバレーボール少年団の交流会が行われ、子どもたちが各グループに分かれて選手と手話や競技を通じてコミュニケーションをとる様子が見られました。



力いっぱい餅をつきました! ふれあいフェスティバル

1月20日(土)、糸満市社会福祉センターで糸満市社会福祉協議会主催ふれあいフェスティバルが行われました。当日は、多くの人々が食事やゲームコーナーを楽しむ様子が見られ、また、餅つき体験では、子どもたちが力いっぱい餅をつきました。餅つき体験をした金城充輝さんは「餅をつく道具が重かったけど、おいしくなってほしいと思いながらつきました」と話しました。

初セリ、威勢良く! 2024年初セリ



1月4日(木)、糸満漁港北地区のイマイユ市場で、2024年の初セリが開かれました。初セリに先立ち、関係者らが出席し、航海安全や豊漁などを祈願し、初祈禱が行われ、その後、初興しが開かれました。午前5時30分から初セリの開始を告げる鐘の音が鳴り響くと、競り人の威勢の良い声がイマイユ市場を活気付け、仲買人たちが並べられた鮮魚を次々と競り落としていきました。



市民とともに新年の門出を 令和6年糸満市新年祝賀会

令和6年糸満市新年祝賀会が1月4日(木)、シャボン玉石けんくくる糸満で開催されました。式典で、當銘市長は「地域経済や市民生活を支えるため、各支援事業を通して活力ある地域作りに取り組むとともに、さまざまな事業を推進してまいります」とあいさつしました。今年は新型コロナウイルス感染症の5類移行後、初めての祝賀会となり、多くの参加者でにぎわいました。



気持ちを新たに! 糸満市消防本部 消防出初め式



「令和6年糸満市消防本部 消防出初め式」が1月5日(金)、同消防本部で開かれました。式典では、服装点検や消防活動などに功績のあった人へ表彰が行われ、當銘市長は「常日頃から献身的に活動されていることに対して心から感謝します」とあいさつしました。式終了後は、幼年消防クラブの演舞や女性防火クラブ員の炊き出しのほか、消防職員・団員による救助訓練が行われました。



新年初走り! 第53回糸満市新春マラソン大会

西崎陸上競技場を発着点に、第53回糸満市新春マラソン大会が1月7日(日)に開催されました。当日は12種目に453人のランナーが参加し、大きな雲に覆われた悪天候に悩まされながらも、多くのランナーが笑顔でゴールしました。小学校高学年女子の部で1位に輝いた岩下瑠華さん(兼城小5年)は「緊張したけど1位になれて良かったです。来年も頑張ります」と話しました。

